

会 議 録

【事業番号7 子育て支援総合コーディネーター事業費】

- 1 会議名 令和元年度第2回市民行政評価委員会
- 2 日 時 令和元年10月30日(水)午後2時5分～2時35分
- 3 場 所 第3委員会室
- 4 出席者
 - (1) 市民行政評価委員会委員
岡田委員長、山口委員、坂下委員、古委員、山崎委員
佐々木委員、竹下委員、林委員、三原委員、村上委員
 - (2) 事業担当課(子育て支援課)
藤木課長、森下主事
 - (3) 事務局(行政経営課)
松本課長、安藤課長補佐、二木係長、神田主査

5 審議内容

評 価 委 員 : コーディネーター件数や利用者数が、近年減少傾向にある原因は何だと分析しているか。(事前質問)

事業担当課 : まず、共働き世帯が増え、育児休業制度を利用して子育てをしている親が増えている。子が1歳に達すると育休終了となり、保育所へ入所させる傾向がある。子どもについての悩みごとは保育所内で一定程度解決される。未就学児が対象の事業であるが、主な対象である未就園児が減少したためと考えている。

[詳細は別表1参照]

また、保育幼稚園課に配置されている、保育所入所の調整や相談を専門とする保育利用支援員について、平成26年度より1名配置されたが、共働き世帯の増加により保育需要が高まり、平成29年度より1名増員された。より多くの保護者への支援・対応が可能となり、相談者が均衡化されたと考えられる。

さらに、平成28年度末にいしかわ中央子育てアプリがリリースされ、子育てサロンや保育所の園開放の日など、保護者自身で情報を得ることができるようになったためと考えられる。

[詳細は別表2参照]

事業番号7 子育て支援総合コーディネーター事業費

そのほか、平成30年度に駅西福祉健康センターの子育て機能強化（大手町にあった夜間急病診療所及び八日市保育所内にあった幼児相談室の移転、こども広場の拡張）に合わせ、駅西こども広場に新たに子育て支援コーディネーターを配置した。ただし、配置にかかる予算は保健局で対応している。

子育て世代が多く住む駅西に配置したことにより、相談者の利便性が向上されたとともに、コーディネーター件数が均衡化されたと考えられる。

[詳細は別表3参照]

- 評価委員：当該事業について、どのように周知しているか。（事前質問）
- 事業担当課：赤ちゃんが生まれた金沢市の全世帯に、保健師や助産師が家庭訪問をしている赤ちゃん訪問時や、転入届を提出された際に「のびのびビ〜ノ」という子育てお役立ちBOOKの配布や、金沢子育てお役立ちWEBでの中で周知している。
- また、コーディネーターが配属されている教育プラザや城北児童会館などに遊びに来られた際に、施設案内の中で紹介している。
- 評価委員：教育プラザ、城北児童会館の年間保護者来館者数がわかれば知りたい。（事前質問）
- 事業担当課：教育プラザ、城北児童会館ともに、保護者のみの来館者数の統計はない。平成30年度の来館者数は、教育プラザは約47,000人、城北児童会館は約137,000人である。[詳細は別表4参照]
- 教育プラザは、教職員研修を行うなど、さまざまな人が利用する施設でもあるため、全体の来館者数ではなく、未就学児の子どもと保護者が利用するこども広場来場者数とした。また、城北児童会館は小中高生などの来館者数も含む。ただし、併設の図書館利用者数は除いている。
- 来館者数について、平成29年度は大きく落ち込んでいるが、大雪や台風の影響であると考えている。また、平成30年度は若干回復しているが、猛暑の影響があり、他年度並みには回復していないと考えられる。
- 評価委員：保護者へのニーズ調査などの取り組みはしているか。（事前質問）
- 事業担当課：本市では、少子化対策推進行動計画「かなざわ子育て夢プラン2015」を策定し、現在令和2年度を初年度とする次期プラン策定に向けて作業している。
- 策定に当たり、昨年度に無作為抽出した就学前児童や小学生の保護者に「幼児教育・保育及び子育てに関するアンケート調査」を

事業番号7 子育て支援総合コーディネート事業費

行い、保護者の現状の把握、ニーズ調査を行ったところである。調査は平成30年12月18日から平成31年1月15日まで実施し、就学前児童の保護者対象の配布数は6,000、有効回収数は2,565で、回収率は42.8%であった。今後ニーズに合った計画を策定する予定である。

5年前と比べ、母親のフルタイムでの就労割合が増え、それに伴い保育サービスや放課後児童クラブのニーズが増加していた。

[詳細は別表5参照]

評価委員： コーディネート内容と件数が、年々減少しているが、対象となる未就学児の人数の推移はどうなっているのか。(事前質問)

事業担当課： 未就学児人数は、平成26年度は24,168人、平成30年度は23,205人であり、平成26年度以降徐々に減少している。特に平成30年度は2%近く減少しており、過去5年間では約4%、1,000人近く減少している。[詳細は別表6参照]

評価委員： コーディネート件数は、評価指標として妥当なのか。生活環境や子育て環境が悪化すれば、当然相談件数は上がるだろう。

例えば、未就学児のトータルの件数に対して相談件数がどれだけあったかというような割合などで示せば、もう少し指標として使えるのではないか。

2点目は、外国人からの子育てに関する質問等に対応できる環境はあるのか。

3点目は、子育て中の方は、子育てについて様々な質問や手続きがあるだろう。ワンストップで対応できるような環境はあるのか。

事業担当課： 1点目の指標については、現在、子育て環境が多様化しており、保護者等からの相談内容も複雑化していることで、1件当たりの相談時間が長くなってきている。そういう意味では、相談件数が多ければよいというわけではなく、対応をきちんと行って、相談に来られた方の不安や心配が解消したかということが重要ではないかと考える。委員がおっしゃられたように、指標の見直しについても検討したい。

2点目の外国人対応については、外国語が話せる等の人材的な対応は現状では行っていないが、転入時の案内冊子を多言語化しており、その中で子育てについての説明もある。現在、ホームページ上での外国人向け表記についても、力を入れているところであ

事業番号7 子育て支援総合コーディネーター事業費

る。

3点目のワンストップサービスについては、保護者等の相談等を一旦全てお聞きした上で、どのように段階的に繋げると効果があるかを考えて繋ぐようにしている。どうしても段階を踏む必要がある手続き等もあり、できるだけ保護者等の負担が少なくなるよう配慮しているが、まだまだ改良の余地はあると思うので、今後も検討を続けていきたい。

- 評価委員：配置されているコーディネーターを、市民が認識する方法はあるのか。また、窓口に案内等はあるのか。
- 事業担当課：名札にコーディネーターである旨記載があるほか、親しみやすいかわいいシール等を貼って工夫している。
また、窓口の職員がご案内できる体制を整えている。
- 評価委員：事業費は、主にコーディネーターの人件費か。
- 事業担当課：そのとおり、2名分の人件費の他は、少額の消耗品費である。
- 評価委員：事業概要説明シート中の延べ利用者数に、来訪件数及び電話件数があるが、その他に例えばメール相談のようなことは行っていないのか。子育て世代は若くて就労している方も多いため、土日や夜間は相談できないので、そういった方々をフォローするようなサービスは行っていないのか。
- 事業担当課：メールでの相談受付は行っていない。
- 評価委員：土日や夜間の相談受付は行っていないのか。
- 事業担当課：施設は開いているが、コーディネーターによる支援は行っていない。

事業番号7 子育て支援総合コーディネート事業費

別表1

保育所・認定こども園利用状況	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1歳クラス利用者数	1,985人	2,054人	2,006人
1歳児人数	3,861人	3,897人	3,790人
利用率	51.4%	52.7%	52.9%

※4月1日時点

別表2

年度	いしかわ中央子育てアプリダウンロード件数
平成29年度末	4,430件
平成30年度末	6,094件

別表3

年度	コーディネート件数			
	教育プラザ	城北児童会館	駅西こども広場	計
平成28年度	1,663件	1,851件	—	3,514件
平成29年度	1,436件	1,400件	—	2,836件
平成30年度	1,163件	1,409件	318件	2,890件

別表4

	来館者数				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
教育プラザ	51,570人	49,123人	50,333人	44,818人	47,467人
城北児童会館	133,765人	144,802人	144,148人	134,537人	136,771人

別表5

就学前児童の保護者（母親）の就労状況	平成30年度調査	平成25年度調査
フルタイムで就労中	29.7%	25.7%
産休・育児・介護休業中	23.6%	15.0%
パート・アルバイト等で就労中	22.0%	23.1%
以前は就労していたが、現在は就労していない	21.7%	32.5%
就労したことがない	0.6%	1.8%

事業番号7 子育て支援総合コーディネート事業費

別表6

年度	未就学児人数
平成26年度	24,168人
平成27年度	24,003人
平成28年度	23,733人
平成29年度	23,597人
平成30年度	23,205人

※4月1日時点